

令和3年度
福島商工会議所 経営発達支援計画
実施報告書

実施期間：平成30年4月1日～平成35年（令和5年）3月31日（5か年計画）

平成30年3月16日 経済産業大臣認定

令和4年3月31日

福島商工会議所

I. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

※調査の事業上の位置づけ、提供方法等は下表の通り。

調査名称	小規模事業者支援のための調査の性格・位置づけ		内部共有手段		提供先と提供情報			
	短期的施策のための調査 地域経済対策、小規模事業者支援策の基礎資料	中長期的施策のための調査 事業継続のための事業計画策定支援及び新たな需要開拓支援の基礎資料	経営指導員ミーティングで説明・協議	職員会議で説明	会報誌で説明（小規模事業者用）	ホームページ（行政・小規模事業者用）	マスコミ（※）	行政等
(1) 中小企業景況調査	○		○	○	○	○	○ (4回)	○
(2) LOBO調査	○		○	○		○		
(3) 小規模事業者実態調査								
(4) 年末年始商戦アンケート調査								

※毎月1回開催している市内マスコミ17社との定例懇談会にて発表・説明

※令和3年度は、新型コロナウイルス対策支援事業の参考とするため、以下の調査を実施し、調査結果については、内部での共有や、会報誌やホームページへの掲載による公表、及びマスコミや行政等へ情報提供を行った。

(1) 新型コロナウイルス感染症に関する全会員対象の緊急影響調査

[第5回]

- ・調査期間 7月1日～7月14日
- ・調査方法 インターネット
- ・調査対象 全会員事業所
- ・回答数 411事業所（回答率11.0%）

[第6回]

- ・調査期間 10月7日～10月20日
- ・調査方法 インターネット
- ・調査対象 全会員事業所
- ・回答数 284事業所（回答率7.6%）

[第7回]

- ・調査期間 2月1日～2月15日
- ・調査方法 インターネット
- ・調査対象 全会員事業所
- ・回答数 353事業所（回答率9.5%）

2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	R1	R2	R3	R4
経営分析事業所件数	10社	55社	60社	65社	70社	75社
		20社 (延23社)	26社 (延29社)	39社 (延52社)	34社 (延54社)	

3. 事業計画等策定支援に関すること【指針②】

(1) 事業計画策定支援

【継続・拡充事業】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	R1	R2	R3	R4
事業計画策定事業者数	20社	45社	50社	55社	60社	65社
		41社	146社	248社	237社	

※新たな販売促進活動等を支援する小規模事業者持続化補助金及びふくしま小規模企業者等いきいき支援事業補助金等、また、特に今年度は、令和3年福島県沖地震並びに新型コロナウイルス対策のための各種補助金等申請にあたって、ウイズコロナ・アフターコロナへの対応、また、災害等からの復興を推し進めるための事業計画策定について伴走型個店指導を行った。

※伴走型小規模事業者支援推進事業により、「事業計画策定セミナー」を開催し、事業計画の重要性を周知するとともに小規模事業者が自ら事業計画を作成できるよう事業計画策定について支援を行った。

(2) 創業計画策定支援

【継続・拡充事業】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	R1	R2	R3	R4
創業計画書作成事業者数	20社	25社	27社	30社	33社	35社
		37社	42社	31社	45社	

※伴走型小規模事業者支援推進事業により、「福島創業スクール」を開催し、ビジネスプランを策定するメイン講座のほか、創業に必要不可欠な基礎知識を習得できるよう、商工会議所の経営指導員や専門家のフォロー、創業支援等事業者（金融機関）等とも連携しながら実施した。

また、福島創業スクール終了後、受講者のスムーズな創業の後押しや創業後の安定を図るため、作成した事業計画書の修正等について、メイン講師による個別にフォローアップを実施した。

(3) 事業承継計画策定支援

【継続事業】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	R1	R2	R3	R4
事業承継計画策定数	1件	2件	3件	4件	5件	6件
		14件	28件	16件	19件	

※伴走型小規模事業者支援推進事業により、「事業承継塾（勉強会）」を開催し、事業承継計画策定について早期着手に向けた支援を行った。また、特に方向性が共有できている事業所については、専門家を派遣する「個別相談会」により、具体的な事業承継計画書の策定支援を行った。

4. 事業計画等策定後の実施支援に関すること【指針②】

(1) 事業計画策定後の実施支援

【継続・拡充事業】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	R1	R2	R3	R4
事業計画のフォローアップ 対象件数	10社	50社	55社	55社	60社	60社
		41社	146社	248社	237社	
事業計画のフォローアップ 支援回数	10回	200回	220回	220回	240回	240回
		123回	438回	744回	711回	

(2) 創業計画策定後の実施支援

【継続・拡充事業】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	R1	R2	R3	R4
創業計画のフォローアップ 対象件数	20社	25社	27社	30社	33社	35社
		37社	42社	31社	45社	
創業計画のフォローアップ 支援回数	40回	50回	54回	60回	66回	70回
		51回	95回	39回	47回	

(3) 事業承継計画策定後の実施支援

【新規事業】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	R1	R2	R3	R4
事業承継計画のフォローアップ対象件数	1社	2社	3社	4社	5社	6社
		14社	28社	16社	19社	
事業承継計画のフォローアップ支援回数	4回	8回	12回	16回	20回	24回
		20回	69回	45回	45回	

5. 需要動向調査に関すること【指針③】

(1)商品力向上のための試食会(商品力向上試食(飲)事業)の開催

【新規事業】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	R1	R2	R3	R4
試食会の開催	—	4	4	4	4	4
		1	1	1	1	
試食会への出店企業	—	8	10	12	14	16
		5	9	10	12	
アンケート回収目標枚数	—	160	200	240	280	320
		94	82	64	112	
個社支援目標数	—	50	55	60	65	70
		10	9	10	12	

※伴走型小規模事業者支援推進事業により、「ふくしまのフルーツを活用したスイーツのブラッシュアップ事業（試食会、専門家によるブラッシュアップ等の支援）」を実施し、需要動向に基づいた伴走型個店支援を行った。

(2)「ランチ de ラリー」を活用した需要動向の提供

【既存事業、一部新規】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	R1	R2	R3	R4
アンケート調査票回収枚数	0	2,800	2,800	3,000	3,000	3,200
		470	451	348	473	
本調査による個店支援数 ※飲食店全体に対する 分析結果の提供件数は除く	69	70	70	75	75	80
		10	12	9	8	

※伴走型小規模事業者支援推進事業により、「飲食店割引クーポン「ランチ de クーポン」を活用したレベルアップ事業」として、参加店の売上(利用)状況や利用者アンケート等、需要動向に基づいた伴走型個店支援を行った。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

販路開拓に関しては、上述の需要動向調査で把握した調査結果や事業計画策定支援をもとに、支援を行う。

全国規模の商談会は、関係機関団体等の主催により東京などを中心に活発に実施されているとともに、東北地区では東北六県連が実施する「伊達な商談会」や、仙台、会津、米沢商工会議所の工業系の事業所を主体とした「三都市商工会議所工業部会交流会」が実施している商談会などが行われていることから、小規模事業者の規模や商品、サービスの内容を勘案しながら出展支援を行う。

また、平成 28 年度に福島県立医大に設置された「ふくしま国際医療科学センター」と併せて立地が予想される医療機器メーカー等と地元企業のマッチングを行うことにより、新たな販路拡大の支援を行う。

(1) 商談会への出展支援及び商談会(マッチング)の実施

① 商談会への出展支援及び他商工会議所と連携した商談会の実施

【新規事業】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

商談件数	現状	H30	R1	R2	R3	R4
出展件数	0 件	3 件	4 件	5 件	6 件	7 件
		0 件	1 件	0 件	2 件	
商談件数	0 件	12 件	16 件	20 件	24 件	28 件
		0 件	2 件	0 件	31 件	
成約件数	0 件	3 件	4 件	5 件	6 件	7 件
		0 件	0 件	0 件	0 件	

※昨年に引き続き、商談会への出展を目指すための「販路開拓塾」を開催し、新たな販路を開拓する有効な手段のひとつとしての商談会参加に向けた実践力の向上を目指した。また、宮城県仙台市で開催した「ビジネスマッチ東北 2022 春」に福島商工会議所ブースを設け、出展を希望する企業への当日の出展支援並びに事前フォローアップを行った。

【販路開拓塾の開催】

開催内容

・第 1 回(商品編)

開催日 令和 3 年 9 月 7 日(火)

講師 (一社)スーパーマーケット協会 シニアディレクター 靱山朋輝 氏

内容 販売チャンネルに合わせた商品開発、バイヤーが求める商品の理解
商談成約率を上げるためのポイント など

参加者 12 社 13 名

・第 2 回(営業編)

開催日 令和 3 年 9 月 21 日(火)

講師 小さな会社の販売戦略を設計する専門家 吉見範一 氏

内容 あなたの話はなぜ「伝わらない」のか、人は発言内容を「足し算」で聞く
営業トークは「削る」ルールでここまで変わる など

参加者 14 社 14 名

・フォローアップ講習会

- 開催日 令和3年12月2日(木)
- 講師 (一社)スーパーマーケット協会 シニアディレクター 靱山朋輝 氏
 小さな会社の販売戦略を設計する専門家 吉見範一 氏
- 内容 FCPシート作成のポイント・商談時の準備物について
 出展ブースレイアウト。見せ方について、商談会ロールプレイング など
- ・展示商談会「ビジネスマッチ東北2022春」出展支援
 ※ビジネスマッチ東北：2006年に東北地域のビジネスマッチの創出を目的
 に開催され、昨年3月開催で第16回目を迎えた東北最大級の展示商談会。
 夢メッセみやぎを会場に「食と農」から「情報・IT」「ソリューションビ
 ジネス」まで10ジャンルで展示エリアを構成。全体では429企業・団体
 が出展バイヤーも対面商談バイヤー29社、オンライン商談バイヤー8社が
 参加
- 開催日 令和4年3月10日(木)
- 会場 夢メッセみやぎ
- 出展者 2事業所
- 来場者 4,062名

② 製造業・県立医大・医療機器メーカー等とのマッチング事業 《福島市医産連携推進事業》(工業)

【継続事業（一部新規）】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

マッチング件数	現状	H30	R1	R2	R3	R4
出店件数	2店	2店	2店	2店	2店	2店
		2店	2店	1店	4店	
医療機器メーカー等とのマッ チング事業	3件	3件	4件	4件	5件	5件
		0件	2件	0件	4件	
成約件数	0件	1件	2件	3件	4件	4件
		0件	1件	0件	1件	

Ⅱ. 地域経済の活性化に資する取り組み

1. 福島駅前元気プロジェクト事業の実施

【継続事業】

【事業スケジュール及び実績】

※上段：目標、下段：実績

項目	現状	H30	R1	R2	R3	R4
福島駅前元気プロジェクト事業	4回	4回	4回	4回	4回	4回
		4回	4回	3回	3回	

※令和3年度の「ナツフェス」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。

2. 福島駅前通り・県庁前通りリニューアル事業

【継続事業】

【令和3年度実績】

項目	現状	H30	R1	R2	R3	R4
福島駅前通りリニューアル事業	 アーケード撤去・街路灯設置終了  ※再開発事業計画は令和4年6月に県が認可、8月より解体工事に着手予定。その後、工事期間中の賑わい創出に向けた取組を実施					
県庁通りまちづくり事業	 ※独自の技やこだわりを楽しめるクラフト・モール整備事業を実施（令和2年度～令和5年度） ※令和3年4月にアーケード工事終了					

3. 福島わらじまつり

【継続事業】

【本祭り目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

項目	現状	H30	R1	R2	R3	R4
観客数	280,000人	281,000人	282,000人	283,000人	284,000人	285,000人
		293,000人	302,000人	0	0	
参加者数	6,300人	6,300人	6,300人	6,300人	6,300人	6,300人
		7,053人	6,612人	0	0	

※参加者数は、会場（国道13号線の車道）のキャパの関係から現状が限界となっているため。

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。

Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

事業名	連携者	連携内容	頻度	実績
オールふくしま 中小企業・小規模事業者経営支援連絡協議会	福島県及び県内の金融機関、商工会議所、商工会、東日本大震災事業者再生支援機構、東北税理士会福島支部連合会、福島県中小企業診断協会、福島県信用保証協会、福島県産業振興センター、中小企業基盤整備機構東北支部などの支援団体648社	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業、小規模事業者に対する下記の支援 ・経営改善及び事業再生等の取り組みへの支援 ・事業展開など経営課題に関する支援 ・支援に必要な情報の共有 ・企業支援人材の育成のための情報交換や研修等の開催 	14回	6回
創業・新事業連携	東邦銀行、福島銀行、福島信用金庫、日本政策金融公庫国民生活事業福島支店、TKC東北会福島県支部、福島県社会保険労務士会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の創業者と第二創業者に関する情報交換 ・創業計画書の作成支援 ・創業支援ノウハウの共有と融資 	4回	3回
福島市医産連携推進事業	福島大学、福島県立医科大学、福島市、福島商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ・参加企業の技術内容の確認・分析を実施し、医療機器分野参入に向けた指導・助言 ・医療機器分野に関する各種情報の提供や企業間マッチング、今後の予測分析の実施 	8回	4回
よろず支援拠点	よろず支援拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の小規模事業者の現状や、直面する経営課題・問題などに関する情報交換 ・小規模事業者の経営計画策定等に関する支援ノウハウの共有 	2回	2回

※その他、福島県商工会議所連合会（事務局：福島商工会議所）において、県内会頭会議や専務理事会議、事務局長会議、中小企業相談所長会議、指導員・補助員研修会などにおいて、随時情報交換を行っている。

2. 経営指導員の資質向上等に関すること

（参考：令和3年度実績）

開催日	研修名	内容	受講者	場所
3.6.17～ 3.6.18	福島県商工会議所連合会 第1回経営指導員研修会	「テレワーク」「DX」「労務問題」等をテーマにした研修会の実施	53名	福島商工会議所 他

3. 8. 17 3. 8. 24	中小企業基盤整備機構専門研修 WEB マーケティング支援の進め方	web マーケティングの考え方や web サイト運営のポイントを学び、web サイトを活用した売れる仕組みづくりの支援能力向上を目指す	1 名	中小企業大学校 (オンライン研修)
3. 9. 13～ 3. 9. 15	中小企業基盤整備機構専門研修 事業承継・廃業支援の進め方	個人事業主逝去に伴う税務支援・事業継続支援	2 名	中小企業大学校仙台校
3. 10. 28～ 3. 10. 29	福島県商工会議所連合会 補助員研修会	年末調整の進め方について 等	33 名	福島商工会議所 他
3. 11. 16 3. 11. 17	中小企業基盤整備機構専門研修 小規模事業者支援に役立つ財務知識	財務の基礎的論点から実務的論点まで、個人事業主と法人を比較しながら学ぶことで小規模事業者への支援能力強化を図る	2 名	中小企業大学校 (オンライン研修)
3. 11. 18～ 3. 11. 19	福島県商工会議所連合会 第 2 回経営指導員研修会	「サイバーリスク」「創業支援」「コロナ禍における人事評価」等をテーマとした研修会の実施	53 名	福島商工会議所 他
3. 12. 2 3. 12. 9	中小企業基盤整備機構専門研修 伴走型支援に役立つロジカルライティング	伴走型支援を進めるあたり必要となる説明資料や報告書作成に関する知識の習得	2 名	中小企業大学校 (オンライン研修)
3. 1. 29	日商オンラインセミナー	商工会議所の経営支援・地域活性化事業等に利用可能な補助・委託事業等	8 名	福島商工会議所
2. 4 月～ 3. 3 月	経営指導員ミーティング (週一で開催)	支援能力向上のため事業所接触履歴と指導内容等の確認・情報共有を実施	8 名	福島商工会議所

福島商工会議所 経営発達支援計画評価委員会 会議報告書

日時：令和4年7月14日（木）10：30～12：00

場所：福島商工会議所 会議室

1. 開 会

2. 挨拶

福島商工会議所を代表して中小企業振興委員会委員長である大和田委員長より挨拶。

3. 出席者紹介

事務局より出席者紹介。

[委員]

(順不同：敬称略)

福島県北地方振興局企画商工部	部長	高 橋 由美恵
福島市商工観光部	部長	加 藤 泰 広
一般社団法人福島県中小企業診断協会	専務理事 専務本部長	段 林 孝 信
福島市商店街連合会	会長	小 河 日出男
福島商工会議所 中小企業振興委員会	委員長	大和田 知 昭
福島商工会議所	専務理事	安 達 和 久

[事務局]

福島商工会議所	理事	日下部 之 彦
〃	事務局長	椿 哲
〃 事業推進部	部長	大 金 英 一
〃 〃 参事兼経営支援課	課長	今 野 秀 幸
〃 〃	経営支援課長補佐	田 村 陽 介
〃 〃	経営支援課長補佐	小 坂 剛 弘

4. 事業報告

まず、経営発達支援計画策定について、事務局より説明。

次に、当所経営発達支援計画に係る令和3年度事業について事務局より説明し、その後評価をいただく形で進行。

5. 評 価

評価委員会の総意としては、令和3年度は新型コロナウイルス感染症や福島県沖地震の対応など、より積極的に支援を行ったことを含め、事業推進状況について概ね良好との評価を頂くとともに、開発した製品の周知方法の検討など、実施事業の効果をより広げるための活動も行うべきといったご意見を頂いた。